



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 光通信  
コード番号 9435 URL <http://www.hikari.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 玉村 剛史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 儀同 康

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 03-5951-3718

平成24年12月7日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	224,677	△3.7	11,698	51.5	11,625	77.4	5,378	38.1
24年3月期第2四半期	233,208	11.1	7,720	—	6,554	—	3,895	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 6,191百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 467百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	108.48	108.38
24年3月期第2四半期	73.75	73.66

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	211,311	105,140	45.6	1,958.63
24年3月期	231,097	106,167	42.1	1,924.65

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 96,280百万円 24年3月期 97,219百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
25年3月期	20.00	21.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	21.00	21.00	83.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	510,000	2.1	24,000	30.6	23,000	30.5	13,000	66.1	264.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	58,349,642 株	24年3月期	58,349,642 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	9,192,843 株	24年3月期	7,837,043 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	49,585,785 株	24年3月期2Q	52,825,806 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっては注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 〈業績の概況〉

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における我が国経済は、公共事業への投資増大などを背景に回復の兆しはあるものの、欧州政府債務問題などによる円高状況、原油や電力等のエネルギー問題、日中関係の動向など我が国を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況となっております。一方著しい変化をみせる情報通信市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及によりその市場規模は拡大を続けております。とりわけその傾向が著しいモバイル市場におきましては、サービス競争がますます激しさを増しており、商品への付加価値提供によるサービス価値向上が図られるなどその市場構造に変化が起きつつあります。

このような事業環境のもと、当社グループは自社商材の販売に軸足を移しながら、安定的な収益源となるストック利益を順調に積上げております。また、基幹商材である携帯電話や有線・無線ブロードバンド回線の販売と合わせて、コンテンツやクラウドサービス、サポートサービスなどの付帯商材のご提案を積極的に行い、法人のお客様の業務効率アップや、個人のお客様の満足度を高めると共に、当社グループの販売効率の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間（6ヶ月）の業績は、売上高が224,677百万円、営業利益が11,698百万円、経常利益が11,625百万円、税金等調整前四半期純利益が11,893百万円、四半期純利益が5,378百万円となりました。

※ストック利益とは、当社が獲得したユーザーによって契約後に毎月支払われる基本契約料金・使用料金・保険料金から得られる収入から顧客維持コスト、提供サービスの原価等を除いた利益分のこと。通信キャリア、保険会社などから受け取る場合と、ユーザーから直接受け取る場合とがある。

（単位：百万円）

	平成25年3月期 第2四半期連結累計期間 (2012.4.1～2012.9.30)	平成24年3月期 第2四半期連結累計期間 (2011.4.1～2011.9.30)	増減	増減率(%)
売上高	224,677	233,208	△8,531	△3.7
営業利益	11,698	7,720	3,978	51.5
経常利益	11,625	6,554	5,071	77.4
税金等調整前四半期純利益	11,893	6,787	5,105	75.2
四半期純利益	5,378	3,895	1,483	38.1

#### 〈当期のセグメント別の状況〉

##### 【法人事業】

法人事業におきましては、主な顧客である中小企業層に対してのOA機器や携帯電話を中心とした訪問販売、法人向けソリューションサービス等を通じた業務効率向上とコスト適正化のご提案ならびに、固定回線やブロードバンド回線などの通信回線サービスをコールセンターやweb等にて取次ぎ・販売を行っております。当社グループは、全国に広がる販売網により、多種多様且つ高品質な商材・サービスの中からユーザーニーズに合わせたご提案を行ってまいりました。また、固定通信市場におけるFTTHサービスを中心としたブロードバンドサービス等の展開に加え、LTEなどの高速無線通信サービスの拡大と共にスマートフォンやタブレット型端末、電子書籍端末などの多様な端末が登場しており、サービス競争は新たな局面を迎えております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、当社グループは自社商材の販売に軸足を移しながら順調に保有件数を伸ばし、安定的な収益源となるストック利益を順調に積上げております。また、基幹商材である携帯電話や有線・無線ブロードバンド回線の販売と合わせて、法人のお客様へ、業務の管理やデータ共有の効率化を図るためのクラウドサービスや、コスト適正化・業務効率向上の為のオフィスソリューションを積極的にご提案する事によって、当社グループの販売効率の向上にも努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間（6ヵ月）の法人事業の売上高は86,397百万円、営業利益は8,493百万円となりました。

### 【SHOP事業】

SHOP事業におきましては、日本全国で展開する店舗を主な販路とした携帯電話端末や周辺機器、モバイルコンテンツ等の販売事業を行っております。モバイル市場におけるスマートフォンのさらなる普及や相次ぐ新機種の登場により、そのサービス競争がますます激化していく中で、当社グループはタブレット端末やモバイル向けコンテンツといった商品の販売とともに、店舗におけるサービス品質のさらなる向上に努めてまいりました。このような状況の中、当社グループの携帯電話販売は順調に推移し、ストック利益の対象となる保有台数が300万台（前年同期比5.6%増）と増加しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間（6ヵ月）のSHOP事業の売上高は132,490百万円、営業利益は4,324百万円となりました。

### 【保険事業】

保険事業におきましては、コールセンターを中心とした販売網にて各種保険のご提案を行っております。専門知識を有するスタッフによるコンサルティング提案を通じ、お客様に最適な保険選びのサポートをしております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、高品質なサービス提供とサポート体制強化のための人材育成に取り組むと同時に、顧客基盤を有する企業と提携することで顧客リストの拡充を行うなど生産性の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間（6ヵ月）の保険事業の売上高は4,516百万円、営業利益は519百万円となりました。

### 【メディア広告事業】

メディア広告事業におきましては、主にe-まちタウングループを通じて、モバイル広告を中心とした広告枠の仕入れ及び販売とサイト運営をメインに事業を展開しております。

モバイル広告の仕入・販売に関しては、スマートフォンの普及による広告ビジネスモデルの変化、大手広告代理店によるモバイル広告事業への本格参入などの影響が存在するものの、当社グループでは積極的に取扱いメディア数の開拓や新規クライアントの獲得に努めてまいりました。また、サイト運営におきましては、ポータルサイト「e-まちタウン」を通じ日々地域に根ざした情報の発信を行っております。集客率向上のための対策として、口コミ情報の充実を図るなど継続的な改良を行いながら、粗利率の高い自社メディア運営による収益拡大に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間（6ヵ月）のメディア広告事業の売上高は2,983百万円、営業利益は122百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

	前連結会計年度末	当第2四半期連結会計期間末	増減
	百万円	百万円	百万円
総資産	231,097	211,311	△19,786
負債	124,930	106,171	△18,758
純資産	106,167	105,140	△1,027

総資産は、前連結会計年度末に計上された売上債権の回収が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べて19,786百万円減少の211,311百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて18,758百万円減少の106,171百万円となりました。

純資産は、配当金の支払や自己株式の取得等により、前連結会計年度末に比べて1,027百万円減少の105,140百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,766	17,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,177	1,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,519	△14,300
現金及び現金同等物の期末残高	15,364	20,970

営業活動によるキャッシュ・フローは売上債権の減少等により、17,327百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却等により、1,592百万円のプラスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還や自己株式の取得等により、14,300百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、20,970百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月18日の平成24年3月期決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,719	18,032
受取手形及び売掛金	77,406	60,171
有価証券	751	2,930
たな卸資産	14,241	12,691
未収入金	6,630	6,281
繰延税金資産	4,807	3,562
その他	7,402	12,439
貸倒引当金	△512	△725
流動資産合計	126,446	115,382
固定資産		
有形固定資産	9,080	8,842
無形固定資産		
のれん	5,526	4,838
その他	1,099	1,050
無形固定資産合計	6,625	5,888
投資その他の資産		
投資有価証券	64,524	63,680
繰延税金資産	10,021	7,504
その他	22,414	17,625
貸倒引当金	△8,015	△7,612
投資その他の資産合計	88,945	81,198
固定資産合計	104,651	95,928
資産合計	231,097	211,311

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,821	30,489
短期借入金	17,582	18,030
1年内償還予定の社債	8,249	5,534
未払金	42,780	35,741
未払法人税等	1,705	2,275
賞与引当金	1,240	1,049
その他	7,524	7,973
流動負債合計	112,904	101,094
固定負債		
長期借入金	3,208	2,576
社債	5,864	347
役員退職慰労引当金	194	200
その他	2,759	1,951
固定負債合計	12,026	5,076
負債合計	124,930	106,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,259	54,259
資本剰余金	25,293	25,293
利益剰余金	33,894	36,301
自己株式	△17,467	△21,519
株主資本合計	95,980	94,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,258	1,975
為替換算調整勘定	△20	△30
その他の包括利益累計額合計	1,238	1,945
新株予約権	1,226	1,194
少数株主持分	7,722	7,664
純資産合計	106,167	105,140
負債純資産合計	231,097	211,311



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	233,208	224,677
売上原価	126,790	119,349
売上総利益	106,418	105,327
販売費及び一般管理費	98,698	93,628
営業利益	7,720	11,698
営業外収益		
受取利息	148	120
受取配当金	430	485
負ののれん償却額	147	119
その他	530	391
営業外収益合計	1,256	1,117
営業外費用		
支払利息	396	304
投資有価証券売却損	9	49
持分法による投資損失	1,287	203
投資事業組合運用損	185	246
その他	542	385
営業外費用合計	2,422	1,190
経常利益	6,554	11,625
特別利益		
投資有価証券売却益	371	478
持分変動利益	247	63
立退料収入	—	1,442
その他	251	128
特別利益合計	870	2,113
特別損失		
固定資産除売却損	182	117
投資有価証券評価損	144	415
投資有価証券売却損	—	238
のれん償却額	—	1,059
貸倒引当金繰入額	170	—
その他	140	14
特別損失合計	637	1,845
税金等調整前四半期純利益	6,787	11,893
法人税、住民税及び事業税	328	2,497
法人税等調整額	2,292	3,905
法人税等合計	2,621	6,403
少数株主損益調整前四半期純利益	4,165	5,490
少数株主利益	270	111
四半期純利益	3,895	5,378

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,165	5,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,678	712
為替換算調整勘定	△3	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△8
その他の包括利益合計	△3,697	700
四半期包括利益	467	6,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264	6,085
少数株主に係る四半期包括利益	203	105

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,787	11,893
減価償却費	1,099	805
のれん償却額	514	1,644
貸倒引当金の増減額(△は減少)	683	696
受取利息及び受取配当金	△578	△606
支払利息	396	304
投資有価証券売却損益(△は益)	△362	△189
投資有価証券評価損益(△は益)	318	520
持分法による投資損益(△は益)	1,287	203
固定資産除売却損益(△は益)	182	117
売上債権の増減額(△は増加)	15,446	16,403
たな卸資産の増減額(△は増加)	564	1,873
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,271	△3,696
未払金の増減額(△は減少)	△7,757	△8,565
その他	334	△3,997
小計	13,645	17,406
利息及び配当金の受取額	695	642
利息の支払額	△404	△322
法人税等の支払額	△3,641	△1,875
法人税等の還付額	472	1,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,766	17,327
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,210	△1,113
投資有価証券の取得による支出	△4,160	△7,043
投資有価証券の売却による収入	2,764	8,232
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△46	△611
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	222	146
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	15	221
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△29	—
貸付けによる支出	△664	△682
貸付金の回収による収入	1,173	1,961
その他	△240	480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,177	1,592
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,062	274
長期借入れによる収入	250	700
長期借入金の返済による支出	△887	△1,450
社債の償還による支出	△122	△8,232
自己株式の取得による支出	△1,499	△4,054
配当金の支払額	△3,202	△2,911
少数株主への配当金の支払額	△788	△86
リース債務の返済による支出	△208	△253
その他	1	1,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,519	△14,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	△91	△103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21	4,516
現金及び現金同等物の期首残高	15,386	16,454
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,364	20,970

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間において、平成24年3月15日付、平成24年5月18日開催及び平成24年7月20日付の取締役会決議に基づき、自己株式を取得した結果、自己株式が4,054百万円増加いたしました。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人事業	SHOP 事業	保険事業	メディア 広告事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	87,286	138,124	4,564	3,190	233,166	42	233,208	—	233,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	679	1,067	—	45	1,792	—	1,792	(1,792)	—
計	87,966	139,191	4,564	3,236	234,959	42	235,001	(1,792)	233,208
セグメント利益	4,867	4,128	432	87	9,517	△8	9,508	(1,788)	7,720

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,788百万円は、セグメント間取引消去74百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,862百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人事業	SHOP 事業	保険事業	メディア 広告事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	85,683	131,427	4,516	2,972	224,599	78	224,677	—	224,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	714	1,062	—	10	1,787	—	1,787	(1,787)	—
計	86,397	132,490	4,516	2,983	226,387	78	226,465	(1,787)	224,677
セグメント利益	8,493	4,324	519	122	13,459	5	13,464	(1,766)	11,698

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,766百万円は、セグメント間取引消去52百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,819百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

(自己株式の消却について)

当社は、平成24年11月13日開催の取締役会において、会社法第 178 条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議しました。

1. 消却する株式の種類

当社普通株式

2. 消却する株式の数

5,000,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 8.57%)

3. 消却予定日

平成24年11月26日 (予定)